



まちの話題

みな、みりよく!
南九州市

にいなめさい
～新嘗祭献上米・献上粟の収穫～

いい米と粟ができました!



新嘗祭への献上米を9月29日に松村孝徳さんが、献上粟を10月13日に柚木弘文さんが収穫しました。

松村さんは「就農50年目で名誉あることを任され、いつも以上に田の見回りをした。いい米ができて、地域の方にも褒められた」と、柚木さんは「家族や関係者の協力により、台風の影響も少なく、無事収穫を迎えられて、安堵した」と述べられました。

収穫された米と粟は、乾燥・選粒などの作業後、11月23日の新嘗祭に向けて送られます。

～第14回南九州市民体育大会～

田代地区が総合優勝!



10月16日、第14回南九州市民体育大会が、3年ぶりに知覧平和公園陸上競技場で開催されました。全7種目が行われ、5つの採点種目で、市内18地区の選手の皆さんが競い合いました。

総合優勝は田代地区で、Aクラスは清水地区、Bクラスは郡地区、Cクラスは田代地区が優勝しました。

またマスゲームでは、来年度開催されるかごしま国体・大会を盛り上げるため、市民やスポーツ推進委員の方々が国体ダンスを披露しました。

～全国和牛能力共進会～

5年に1度の和牛の祭典開催!



10月6日から10日にかけて、第12回全国和牛能力共進会鹿児島大会が開催されました。

鹿児島県は、全9部門のうち6部門で最高賞を獲得し、種牛の部では最高栄誉とされる内閣総理大臣賞を受賞するなど、「和牛日本一」の栄冠に輝きました。

また、知覧会場では枝肉の比較審査やセリが行われ、同時に開催された南薩農畜水産物PRイベントでは、かわなべ牛やかごしま黒豚などがふるまわれ、多くの人でにぎわいました。

～第27回小京都ふるさと祭～

ふるさと自慢、味自慢



10月30日、知覧平和公園自由広場で第27回小京都ふるさと祭が3年ぶりに開催されました。

開会セレモニーのあと、ステージショーが行われ、園児による太鼓の演奏、各団体による太鼓や音楽の演奏、ラップ、太極拳、神舞が披露されたほか、猿回しやお笑いライブ、城之内早苗さんの歌謡ショーが行われ、会場は大いに盛り上がりしました。

また、当日は農産物なんでも品評会やふるさと自慢市、お楽しみ抽選会も開催され、多くの人でにぎわいました。



～秋の全国交通安全運動～

安全運転に心掛けましょう！



9月21日、穎娃地域の三俣交差点で交通安全運動街頭キャンペーンと旗の波作戦が開催され、地元の穎娃高等学校の生徒を含めた関係者約100人が参加しました。

参加者は旗を持ち立哨を行う方と、赤信号で停車中の車の運転者に向けて「安全運転お願いします」の声掛けにあわせて啓発グッズを配布する方に分かれて活動しました。期間中は市内で27件の交通事故（人身4件・物損23件）が発生しました。

今後とも交通安全に心掛けましょう。

～竹屋神社豊祭～

上山田太鼓踊り奉納



10月23日、川辺町中山田の竹屋神社にて上山田太鼓踊りが奉納されました。

この踊りは、朝鮮出兵の際に従軍した兵士の出陣を祝ったのが由来とされます。出陣・帰陣・凱旋の3つから構成されており、鹿児島県無形民俗文化財に指定されています。

今年は上山田の出陣の踊りが披露されました。当日は朝の肌寒い中でしたがたくさんの観客が訪れました。竹屋神社に奉納後、公民館などを巡回し6年ぶりに踊りを披露しました。

～宝福寺開基600周年記念

・知覧茶銘柄統一5周年記念シンポジウム～

お寺とお茶の歴史を堪能



10月22日、知覧文化会館において、宝福寺開基600周年記念・知覧茶銘柄統一5周年記念シンポジウム「お茶のふるさと宝福寺からみた日本 京都・薩摩・琉球」が開催されました。

まず、東京大学名誉教授の村井章介先生による、南九州市指定文化財である「宝福寺跡」と琉球との関わりなど興味深い講演がありました。また、鹿児島文化史研究会の橋口亘さんによる、宝福寺の「チャノキ」の話や、市役所瀬川茶業課長による、知覧茶銘柄統一のエピソードなどの報告がありました。

～第15回南九州市立図書館 読書のつどい～

読書の秋に聞くものがたりライブ



10月22日、穎娃文化会館で読書のつどいが開催されました。

今回は児童書作家の杉山亮さんによるワークショップとものがたりライブが行われました。ワークショップでは、紙と鉛筆を使って小学生から一般の参加者まで幅広く交流をしていました。また、ものがたりライブでは、手を使った遊びや口頭による物語の語りを楽しんでいました。参加者は「ものがたりライブでは、画像などを使わず語るため、想像力をかき立てられて面白かった」と話しました。